

教育ミニセミナー

『がん化学療法～レジメンの理解～研修』実施報告

- 日時 : 令和 7 年 12 月 18 日 (木) 17 時 15 分～17 時 45 分
対象者 : 看護師
目的 : がん化学療法の基礎とレジメン内容を学び、副作用対策及びサポート方法を習得する。
内容 : ・レジメンの基礎知識
・がん化学療法の副作用とその対策
・がん薬物療法の曝露対策
講師 : がん化学療法認定看護師 T 看護師

がん化学療法とは？

がん化学療法は、抗がん剤や化学物質を使用してがんを治療する方法です。手術療法や放射線治療と並ぶ「がん治療の3本柱」として位置づけられています。化学療法は点滴や注射、飲み薬などの形で薬剤を体内に投与し、がん細胞を攻撃したり、その増殖を抑えたりします。

化学療法は他の治療法のように特定の部位、局所的な部位に効果があるのに対し、全身のがんに働きかける特徴があるため、広い範囲のがんにも効率的に攻撃できる効果があります。

化学療法は完治を目指すだけでなく、がんの進行を遅らせたり痛みを和らげたりする役割も果たします。

今回、化学療法を受ける患者さんに対して専門的な看護を提供し安全性や患者さんの QOL 向上を支援するため活動する認定看護師より、当院で多く行われているレジメン内容を中心に「薬剤の作用機序と特徴」「副作用の種類と発生時の対応」「休薬の判断とそのタイミング」等、治療に関わる際に持っておくべき知識について、講義をしていただきました。また、患者さんだけでなく、治療を行う医療者のリスクについても紹介され「曝露対策」「緊急時の対応」等、医療者にとっても安全な医療・看護が提供できる方法についても講義されました。

患者さんにとって負担が大きく、医療者としても緊張感のある治療となります。どちらにと

っても安全かつ安心して治療を継続していくためには、知識・技術の習得が不可欠となります。

患者さんが治療をしながら、日常生活を安心して過ごしていくことが出来るよう医療・看護チームは継続的に学び、“支える力”を身につけていきたいと思います。

業務多忙な中、研修お疲れ様でした！！

